学習院大学新聞

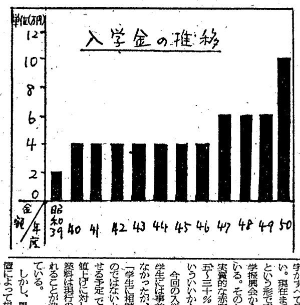
発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白
1丁目5番1号
電話(986)0221内線260
発行・編集責任者
新屋敷正隆
送料とも年間 200円

今号四ページ
二面　韓国問題シリーズ(1)
三面　中年御三家大学祭へ
四面　キャンパスの人

入学金も値上げ
一挙に4万円アップ
来年度から
経理課 収支明細の提示を拒否

来年度より入学金が現行の六万円から四万円アップして、十万円となる事が決定した。

大学当局によれば私立大学に共通した財政の困難が理由とされ、学生にはなんの説明もなくすでに入試要項に載せられている。その上今回の値上げ後も財政の見通しは明るくない。現在のところ授業料値上げのはっきりした動きは見られないが、昭和五十一年度以降値上げの公算は大であろう。



来年度（五十年度）新入生の入学金値上げが九月二十五日の評議員会、理事会で最終的に決定された。これによると学習院全体（幼稚園から大学院までを含む）を通じて、現在六万円の入学金が四万円アップして一挙に十万円に跳ね上がる。

値上げの理由は、インフレなどにより支出全般に赤字が見込まれるためとのこと。

また「今回の値上げによって赤字がすべて解消するわけではない。現在までに、表面的には赤字という形で表われていないが、私学振興会からの借入金が累積している。そのためこの値上げによる実質的な赤字解消は、全体の二十五～三十％にしかならない」といういいかたをしている。

今回の入学金値上げについて、学生には事前にまったく知らされなかったが、これについて当局は「学生に相談して決める性質のものではないと思うし、追って知らせる予定である」とし、授業料値上げに対しては「五十年度の授業料は現行の十六万円に据え置かれることが決定している」と言っている。

しかし、累積した赤字がこの措置によって根本的に解消されるメドは立っていない。したがってこれを補うため、四十七年度、四十八年度に続いて五十一年度の授業料値上げも充分考えられる。「経理の人間の頭の中には授業料値上げのことはいつもある」という言葉がそれを示している。

またこのような状況にあって、学生に対し収支の明細を提示することを拒否する当局の態度、そして次の言葉は印象深い。

「入学金の払えない人は来なければいいのです」（経理部長談）

大詰めを迎えた大学祭
期間、十一月一日―六日
中央企画も正式決定

九月十九日、第三回大学祭参加団体総会（以下・参団総）が開かれ、大学祭実行委員会（以下・大実委）の基本姿勢と中央企画が発表された。

同参団総において、加藤大実委委員長は「昨年までのサークル祭を全学的レベルのものとする」という従来の姿勢を改めて強調した。また、今大学祭を「昨年度の司会問題のような大実委の失敗の反省をふまえ、昨年度の延長ではなく質的変革を遂げるための新たな出発点とする」と位置づけ、それを実現するための基本姿勢として「六十九年、院祭から訣別し、大学祭を創出した意図を再確認する。また、自治会の強化することによる大学祭闘争を通して現段階のサークル主義、サロン化傾向の限界を突破できるに違いない」と述べた。続いて、今年度の参団総を今までの単なる事務連絡の場から、論議の場に飛躍したと高く評価した。

また、夏休みの大実委合宿への否定的な見方に対し、「連絡不十分ではあったが、先進的サークルが集まることで論議を作り出せたので、最大の活動成果が得られた」と反論。これからも大衆的論議の場として定着化させる方針であることを表明した。

同時に紹介された中央企画は次の通り。

一、シンポジウム
〇刑法問題（青木薫久氏）
〇インフレ問題
一、映画（チャップリン）
一、コンサート（クラシック）
一、前夜祭
一、後夜祭

シンポジウムに社会問題をとりあげたことについて委員長は「サークル活動は社会問題と全く切り離して作ることはできない」と補足説明した。

その後、日程は十一月一日から六日（一日は前夜祭、六日は後片づけにあてられる）と正式に発表された。

また、メイン・スローガンは九月二十五日、加藤委員長と宮本副委員長の話し合いの結果、「過渡期の苦闘をわがものとし、創造と自治の無限の海原へ」に決定した。

大学祭準備もいよいよ、最終段階に入ったと言えよう。

総務、同常費を凍結
「同常のあり方に不満」と

十月四日、同好会常任委員会（以下、同常）は、総務委員長に対し、同好会総会で承認された大学祭サークル援助費及び同常費の予算請求書に捺印を求めた。ところが総務委員長は、「同常の指導機関としての指導性に問題がある」とし、また「輔仁会規約によれば、同常は存在せず、文化系サークルを運営していくのは文常である」との二点を理由にこれを拒否した。

その後、同常と総務委員長の数回にわたる論議がされたにもかかわらず、総務委員長はサークル援助費の凍結を解除したのみで、両者の対立は続いた。

これに対し、同常は十月七日、臨時同好会総会を開き、総務委員長に抗議するとともに、見解を明らかにした。

その場で、総務委員長は「活動内容を重視せず、総会の出席や書類の提出など事務面を基準にしてサークルを評価し、種々の形で処分を行なう同常の指導性には問題がある」などの理由を述べ、「これに対する自己批判が加えられない限り、同常費をおろすことはできない」と主張した。

これに対し、新井同常委員長は「処分については、無意味になされている訳ではない。また同常は指導機関であるとともに、サークルによって指導されるという立場をとっている。総務委員長の言動は権限を利用した不当な介入、干渉である」と同常費をおろすことを要求した。

さらに、総務委員長は六十九年の大学祭闘争の時点から大きな役割を果たしてきたサークルの現在の低滞を指摘し、同常のそれらの問題を克服していく展望、決意の欠除を強調。その後いくつかの議論がなされたが、につまらず、サークルから「予算と同常批判とは別問題である」という意見が続出し次の二点の決議が賛成多数で採択された。

一、総務委員長は同常費凍結に対して自己批判すること。
一、総務委員長は、即刻同常費の予算請求書に捺印すること。

この決議に対し、総務委員長は「同常は少しも私のいっていることが理解できていないでは」と不満をぶちまけていた。

一方同常では、サークルの意見としてのこの決議をあくまでも総務委員長につきつけていくといっている。

10月1日 ランチ二百円に
学食値上げ

先月号の本紙で報道したとおり十月一日より学食のランチ百九十円が二百円に値上げされた。人件費・物価の値上がりがそのおもな理由である。来年三月まではこの価格で据え置きということであるが、物価の関係でまだまだ予断を許さない状況である。

これに対して、食堂責任者は「値上げしたくはないんですが、どうしようもないんです。大学本部から、少しでも援助してもらおうと頼みはしているんですが」と述べている。

十月一日からの米価・公共料金等の値上げに対して、食堂では九月以来買いだめなどをして対処はしていた。しかし、それも一時的なものにすぎない。本部からの援助も、食堂の再三の要請にもかかわらず、今のところ見込みがない。

それに加えて、食堂の売り上げ増加も望めず、八方ふさがりの状態である。このため、利用者の不満を解消するメドがつかず、厚生施設としての学食の役割りが果たされていない。

学生からは一般に反響はなく、九月二十七・三十日に同常及び、本社による反対ビラが配られただけであった。

厚生施設といわれる葵々会学食の値上げは、物価狂乱に苦しむ、学生に追い打ちをかけた。

大学の諸設備は、学生が安心して勉学に励めるように設けてあるものである。それが、学生の首をしめている。

値上げの原因は、現政府のインフレ政策に巻きこまれてしまったことにある。また、食堂責任者の言っている「学校当局が全く援助をしてくれない」も原因している。

インフレは増々その歩を速め、来年以降の入学金値上げをはじめとして、次々に値上げが、色々なところでおこなわれるだろう。

我々はインフレというものをもっと身近に考えるべきではないか。

―マラソン大会―
参加者は大半スキー部員

十月五日（土）午後一時半から運常・体育科主催の院内マラソン大会が行われた。男子は院内五周約六・五km、女子は三周約三・九kmの距離。参加者は男子三十七人、女子十九人。結果は、男子一位が水平知くん（営1、時間二十四分三十秒）、女子一位は安井英子さん（英1、時間十八分十九秒）であった。

この大会は例年スキー部の参加者が多く、本年も女子は全員スキー部、男子も過半数がスキー部であった。これに関して運常では「他クラブはシーズン中のところが多く、参加できないのが現状です。一般参加者がもっと多くなればいいのですが」と述べている。

解説
戦前と変わらぬ学習院
その企業好みの体質
―百周年記念事業―

現在までの経過

開院百周年を記念し、企画室を中心に記念事業を行うことが明らかにされたのが、四十七年初頭であった。

当局は、まず、四十八年春に、「校地校舎等整備委員会」を発足させ、学校としての原案を一応まとめた。さらに、その原案を資料とし、「記念施設プランニング委員会」が九月以降、精力的な活動を続け、記念事業の施設案をまとめるに至った。

十一月五日、これらの諸準備を受け、六月に成立した「百年記念事業委員会」の第一回が開かれた。事業の柱、施設充実の計画案募金の計画等について多方面からの意見が出され、計画が本格的に開始された。次いで十二月十日に行われた第二回委員会では、方針が具体化され、学校財政の予測資料などをもとに検討された。

十二月に入り、今までの計画も世界的な石油問題による社会的経済的激変の影響を受けた。このような状況下では決定は困難であるとし、四十九年一月の財務委員会で募金の予測と基本的対策、長期財政計画を記念行事との関連について検討された。

三月初め、第三回財務委員会が開かれ、四十九年度の予算を基礎とした長期予測をもとに種々の財政対策が検討された。

同月十八日、第三回記念事業委員会開催。ここで前回案をやや修正した案、学習院の長期財政計画との記念事業との関係、さらに記念募金の準備などが中心に審議された。これにより事業実施へ向けて第一歩を踏み出すことになった。

また、翌十九日、以前から仮計画のまま、日本私学振興財団を通して申請してあった「学習院創立百年記念募金」の認可と免除措置が許可された。四月からは個人の寄付も一万円以上の分（年収二十五パーセントまで）が所得控除されることとなった。

記念事業は着々と進行し、既に初等科の記念プール工事も始められた。夏休み明けの九月五日に行われた理事会でも短大体育館、年代測定室の着工を他に先がけて行うことが決定された。

広く意見を求めるために「記念事業父母、卒業生懇談会」も発足。今後、資金面にメドをつけた上で計画をさらに一段階上のものにしようというのが、当局の意向である。

"百年"の意味

「百周年記念」と銘打っているこの事業だが、学習院設立百年は何を意味するのであろうか。戦前における、学習院の日本社会に果してきた役割を考えてみたい。

日本帝国主義は過去数十年間国民をひどい目に合わせてきた。戦前の天皇を中心とした日本のファシズム国家体制に果してきた学習院の役割は大きい。なぜなら、学習院は当時の支配階級であった、天皇をはじめとする皇族や華族を社会に送り出していたからである。

また、学習院は戦後新しい学制のもとに、新しい教育理念、新しい教育方針で、発足したはずである。そこにおいて、あえて戦後と戦前を結びつけたことは、戦後の学習院の体質が何ら変わっていないことを露呈したものではないか。

そのことは、この事業の企画を担当している理事の次のことばに端的に表わされている。「制度の上では戦後と戦前は訣別したが、心情的には、訣別してないだろう」

侵される大学の自治

現在の予定では、この事業に要する費用は、約四十億から六十億円。当然これだけの費用を、一般会計の中から念出するのは無理である。そのため、資金の大部分を外部からの寄附金に頼っている。募金の対象は、学習院の卒業生三万八千人と、不特定多数の法人企業である。

この企業にお金をもらうというところに問題がある。企業は、どういう意図で寄附をするのだろうか。大学の財政を企業に頼れば、企業が大学の運営に口を出すおそれが多分にある。

当局は企業が寄附をするのは、教育事業の発展を願ってのためだという。それはその通りかもしれない。しかし、企業が言うところの「教育事業」とは、企業のためになるような人間を大学に養成させることであり、企業のための製品を研究させることである。

だが、本来「大学」とは産業界のためにあるものではない。大学とは真理を追求する場であり、外部のいかなる勢力によっても左右されてはならない。

またそれと同時に私学の財政のあり方にも問題がある。この百周年記念事業が、資金のメドがついていないために事業そのものが、はっきりしていないように、私立学校全般の財政はきわめて不安定である。そして現在の日本全土をおおっているインフレのため、一年後の物価も予想がつかないありさまである。

・今後の打開策として、当局は国庫補助の増額を望んでいるとのことだ。これによって財政の不安定は解消されるかもしれないが、企業の場合と同じように、政府が大学に介入するおそれが起きる。このため、大学の自治を侵すような大学管理法の制定などという形でなく、もっと抜本的な政府の文教政策の改変が望まれる。

当局本位の計画

大学では学生があらゆる面で中心的な部分である。学生は教育と研究のために大学に来ているわけで、それが円滑に行なわれやすいように当局に要求する権利がある。ところが、この百周年記念事業では学生一般の要望を取り入れる姿勢が見られない。そのことは施設面で端的に表われている。

この事業では初等科のプールに続き、短大の体育館の設置と、本学の年代測定室の改新築が正式決定された。短大の体育館はいいとして、この年代測定室に問題がある。これは社会的に権威のある木越教授が使用していて、学習院大学の看板的存在になっている。学生は理学部の学生が若干使用するだけである。

この測定室から着手したということは、当局が学生より教授や名声に重きを置いているということになる。こういうものを整備することも、もちろんよいことだが、本学の学生一般が望んでいる学生食堂の拡張、学生同士の話し合いの場である学生会館の設置、図書館の充実等の方が優先されるべきではないだろうか。

宮島教授 当局へ慰謝料請求
掲示ミスのこじれから

六月末から七月初めにかけての宮島教授の休講をめぐり、教務課、庶務課などの間でもめごとが起きた。

宮島教授は六月二十一日に入院のため休講する届けを、七月一日には診断書とその補足書類とを、代理人を通じて庶務課へ提出した。しかし数日後、秘書の連絡で休講掲示の出なかった事を知った教授は、入院先から数度にわたり庶務課、教務課に電話で事情を尋ねた。これに対し、当局からは「今、担当者がいない」、「教授の家族から休講届けがなかったので、掲示を出さなかった」との宮島教授には納得のゆかない返事しか得られなかった。また教授は大学の名において、事務処理のミスがあった事を認める掲示を出して欲しいと、各部局に要請したが、それに対しては何の返答もなかった。

このため教授は九月に『受講生へ』として「私が事前に届けを出したにもかかわらず、休講掲示が出なかった。これは庶務課、教務課の事務ミスである」という内容の掲示を出した。

一方、教務部もこの掲示に並べて「これは宮島教授からの要請で掲示したものであり、教務部の見解ではない」と書いた掲示をはり出した。

教務部長は「書類の時間がかかり休講掲示が出なかったと言っても、それは宮島教授が学習院では認められていない有給休暇という形で届けを出したためです。これでは時間がかかっても、仕方がないでしょう。また事務のミスであったとしても、学生に対しては教授が一言詫びてくれれば、まるくおさまる事なのに」と宮島教授の姿勢を批判した。

しかし、宮島教授はあくまで「常識では考えられない事務処理のミスです。しかもこちらの質問にはっきりとした解答を出さないとは、バカにしているじゃないですか」と不満の意を表した。そして入院中の安静を、このもめごとのため数度の電話で妨げられた事等を理由に、院長、大学学長、教務長を初め関係者に慰謝料を要求している。

おわび

先号に掲載した「大学祭合宿」の記事において、「運・同常は拒否」は事実誤認でした。参加団体数「八団体」は、「十二団体」の誤り。「…が失敗した」並びに「運常と同常は」から「をボイコット」までを削除。

「学食値上げ」の記事における「経営委員会に学生が参加していない現在、…」で、「経営委員会」とは「葵々会経営委員会」ではなく当局における「経営に関する委員会」の意でした。

以上謹んで訂正するとともに、関係者の方々に対し心からお詫び申し上げます。今後、取材面を一層充実させ、このようなことのないよう努力いたします。

催物のお知らせ

当社は、これまで報道機関としての立場から、大学祭への直接参加をいたしませんでした。が、学内の文化向上と、全学祭の精神を具体化するための一翼をになうべく、ここに次に掲げる企画を主催または後援させていただくことになりました。

◆「中年御三家勢ぞろい！」
永六輔氏
小沢昭一氏
野坂昭如氏
日時　十一月四日　午後十二時より　午後二時まで
場所　中央教室（ピラミッド校舎）
主催　学習院大学新聞社
共催　大学祭実行委員会
協力　矢崎泰久氏
（三面に関連記事）

◆「報道写真展　第一回大学祭の生誕」
日時　十一月二日から　十一月五日まで
場所　西三の二〇四教室
主催　学習院大学新聞社
協力　G・S・R・S

◆「運動会」
日時　十一月三日　午前十一時より　午後二時まで
場所　北グランド
受付　休日を除く毎日　午後五時まで学生相談所へ
主催　学生相談所
　　　学習院大学新聞社
　　　G・S・R・S
　　　運動部常任委員会
（四面に関連記事）

◆「近代化への挑戦」
―批判的視座から―
日時　十一月二日　午後十二時半より　午後四時まで
　　　十一月三日　午後十二時より　午後三時半まで
場所　北一の一教室（両日とも）
講師　小松茂夫氏、平川祐弘氏、神島二郎氏
主催　あるびょんくらぶ
　　　近代史研究会
　　　東洋文化研究会
後援　学習院大学新聞社
（三面に関連記事）

◆「時事問題講演会」
日時　十一月四日　午後十二時より　午後二時まで
場所　北一の二教室
第一部　「悪性インフレに喘ぐ日本経済の行方」
講師　大内力東大教授
第二部　「団体制の確立と林失脚〈現代中国の行方〉」
講師　柴田穂氏
主催　社会科学研究部
　　　中国文化研究部
　　　政治学研究会
後援　学習院大学新聞社
（三面に関連記事）

明窓浄机

先日、「学習院父母会名簿」なるものを、じっくりと読んでみて いや、さすがに「父母会名簿」と感心させられた▼入学式で、学長だったか院長だったかが、「学習院を背負っているのは父母と教師とO・B」と言っていたが、全くそれは、この名簿の構成に象徴されている。何しろ、名簿の筆頭者は保護者の名前であって、我々学生なんぞは、その付属物としてページの隅っこに、やっと名前だけ載せてもらっている。そのため、友達に電話をしたくとも、当の本人を捜すのが一苦労。やっと捜しあてても、その住所は父母の現住所。まさか北海道や九州まで、下宿先の電話番号を聞くために電話するほどヒマではない▼職業なる欄には、〇〇会社社長、理事、取締役と経団連名簿と間違えそうな肩書が並んでいる。何せ、課長、係長と役職まで明記されるのだから、零細企業の万年ヒラの我がオヤジ殿、さぞかし肩身が狭かろうと、別に肩書重視主義ではないが、いたく同情させられた。これに対して、プライバシーの侵害だと叫んでみたってそこは企業第一主義の現体制とピッタリくっついている我が学習院百周年記念も企業の寄付金で行なわれるのだし、弱犬の遠吠えほどにしか受けとられまい▼昼近き頃ともなれば、ベンツにワーゲンという外車が銀杏並木に勢ぞろいする。我ら学生のボロサニーなどは「車の学内乗り入れ禁止」とばかりに、正門でシャット・アウトされるのに、幼稚園児が悠然と鎮座する送迎の車は顔パスの現状。こんなに父母は優遇されるのだからきっと学食も、父母が使うようになれば、値上げもしなくなるのかもしれぬ▼それにしても、父母会名簿筆頭に列記されている諸皇族のお坊ちゃん、お嬢ちゃんには誰しも多少反発したくなるだろう。「天皇は日本の象徴なり」と憲法に書かれているが、別に我々このお坊ちゃん、お嬢ちゃんを象徴と仰いでいるわけでもあるまいに。何も「御在学」と特別扱いにしなくたって。きっと御当人も、そう思って迷惑しておられるのではあるまいか。同じ（?）資格で入学し、同じ（?）入学金を払っている同じ（?）人間なのだから、我々と、同じページに載っけたら、いかがかな。

ドイツ語夜間講習
入門初級 中高級 11月5日～12月19日　月火水木金 6時～8時40分
つぎの講習は　春期講習 3月24日～4月25日　新緑学期 5月15日～6月27日　（全百時間）
紅露文平　竹内敏雄　国松孝二　丸山武夫　星野慎一　田中泰三
藤戸正二　藤本淳雄　浜川祥枝　平尾浩三　シンチンゲル
要項呈　〒101 千代田区神田神保町3-8 TEL265-6211(代)
専修大学 ドイツ語教室

銃口は死を超えて
岡本公三裁判全記録　毎日新聞記者 徳岡孝夫著〔¥780〕
話題騒然！
●テルアビブ空港襲撃事件の全貌
青年の狂気か！革命の理想か！全世界を震撼させた流血の論理と行動のすべて…ここに世界初公開！
日本赤軍兵士による、空港襲撃と自爆!! アラブゲリラの指令にもとづく、その手口と、襲撃計画と、事件の背景を追い、軍事裁判の法廷で、そのすべてを記録しつづけた大スクープと手記！
【内容の一部】
●流血の五月三〇日…凄惨！恐怖と怒りの渦
●中東に引き寄せられた殺人者…その目的は
●パレスチナ・ゲリラの実態…PFLPの道
●岡本公三の公判準備…拒否された日本人弁護士
●殺された側の証言…プエルトリコ巡礼団
●ツリフィン軍事法廷…赤い砂漠の中の法廷
●暴露された自殺契約書…同志の遺体に号泣！
●オリオンの星になりたい…岡本の革命の論理
●論告求刑・弁論・判決…未熟な観念の幻想
●月刊歴史読本の
新人物往来社　東京都千代田区丸の内3の3の1 TEL.東京(212)3931(代表)

ぼくらのドイツ語　早崎守俊著
A5判259頁¥1200〒140
易しい文章を自分で読む事によりやっかいな文法規則を自然に習得，多数の文化記事によりドイツを全体的に把握できるユニークな入門書。全国学校図書館協議会・日本図書館協会選定図書
桜井和市著　改訂ドイツ広文典　B6判五二四頁 ￥一四五〇 〒一四〇
藤田ドイツ語入門　藤田五郎著
速修初級ドイツ文法　岸・宮内共著
新ドイツ語の基礎　田川基三著
英語からフランス語へ　川本茂雄著
フランス語で話しましょう　福井芳男著
フランス語会話文章の入門　丸山圭三郎著
家島光一郎著　フランス文法入門　新書判二一八頁
東京千代田 猿楽町2-8-5　第三書房　振替東京 133990

吉本隆明
中村文昭　四六判函入1000円
吉本隆明の原像を原生的異和＝よそ者意識に探った気鋭の詩人中村文昭の本書は、吉本思想傘下から激しく放出する位置から人間吉本隆明を描ききる。
衝動的性格
W・ライヒ／片岡啓治訳　900円
若きウイルヘルム・ライヒが衝動＝本能的性格の概念に着目し，精神分析的性格理論を精密に展開して，後の「性格分析」を導いた先駆的労作。
永久男根16　平岡正明　950円
無言の現在　菅谷規矩雄　900円
イザラ書房　東京都文京区本郷4-8-7〒113 電話811-8753 振替 東京148025

現代の眼
11月特集号　300円
特集＝〈自立〉とは何であったか
自立―吉本隆明の方法　北川透
自立論への一つの回答　長谷川宏
閉ざされた共同体と魂の幽閉　河野信子
自然過程と自覚的行為　三上治
「敗北の構造」としての自立論　小林一喜
テロルなき〈自立〉の陥穽　太田竜
自立―その原義と衰弱　菅孝行
ユートピア思想としての「自立」　遠丸立
日韓の隘路と転轍の視座　対談 宮崎繁樹 鄭敬謨
世界不況と経済危機の論理　大内秀明
三菱爆破事件とアナキスト断想　寺島珠雄
特別報告　七〇年代ソ連海洋戦略
東京・京橋3-11 現代評論社 振替東京4419

シリーズ 韓国 第1回

韓国における虚構の民主制

韓国、日本に最も近いこの国への関心が高まっている今、我々は冷静な目と耳で本当の韓国を知り、考えることにしよう。そこで、韓国の様子をできるだけ詳しく伝えるために、憲法と法令集を基盤として、韓国で起きた事件を厳密に示すように努めた。

さらに韓国人の心を知る糸口として「韓国からの通信」（岩波新書）と金芝河の詩を引用した。

旧政治家を一掃

一九四八年八月十五日、北緯三十八度線によって朝鮮半島を分断したまま、大韓民国は、建国された。五十年六月二十五日、朝鮮戦争が起こる。六十年四月十九日、韓国学生革命により、大統領任期の延長をはかり、腐敗、独裁化した李承晩政権は倒され、民主党の伊譜善（い・ぶんせん）氏が大統領となった。六一年五月十六日、当時陸軍少将だった朴正熙氏らは軍事クーデター（朴政権はこれを五・一六軍事革命という）を起こした。六二年三月十六日、朴正熙現大統領を主班とする国家再建最高会議が開かれ、政治活動浄化法が公布された。

【政治活動浄化法】

第三条（適格審判請求）—①次に該当する者で政治的行動を行なおうとする時には、公告があった日から十五日以内に政治浄化委員会にその適格審査を請求する事ができる。

(イ)民主党の代表最高委員、最高委員、以下民主党の各幹部職。

(ロ)統一社会党、民族統一党—中略—全国学生革新連盟などの政治団体、労働団体—中略—全国民族自主統一連盟の中央組織の部長級以上（中央委員を含む）

第八条（政治的行動の禁止）—前略—適格審判を請求しないか、適格判定が確定されなかった者は一九六八年八月十五日まで政治的行動をすることができない。

第十条（不服申請の禁止）—前略—命令または処分に対しては、行政訴訟その他の不服申請を行なうことができない。

×　×　×

一九六二年十二月、朴政権は、政権の長期化を規制する「大統領の任期は二期八年まで」とする憲法改正を行なった。六三年軍事政権は、「民政移管」を実施し第八代大統領に朴正熙氏を選出した。そして、ここに第三共和制が確立したのである。

現在は準戦時下

七一年十二月六日、朴大統領は全国にむけて「国家非常事態宣言」を行ない、「現在は準戦時下であり、そのためには維新体制を確立せねばならない」と言明した。以下は、その抜粋である。

【国家非常事態宣言】

最近の諸国際情勢の急変と、韓国の影響、北韓傀儡（かいらい）の南侵準備に狂奔している諸様相を検討した結果、現在大韓民国は安全保障上、重大な次元の時点に処していると断定するに至った。

—中略—

①政府の施策は国家安保を最優先とし、万全の安保態勢を確立する

⑥最悪の場合、我々が享有している自由の一部も留保する決意を持たなければならない。

×　×　×

『これから、スパイ事件も内乱罪もふえてくることであろう。方々でビラがばらまかれるが、それにも内乱罪が着せられる……』（「韓国からの通信」より。以下『』内は、その抜粋とする）

×　×　×

七二年十月十七日、朴大統領は全国に「非常戒厳令」を宣布した。

【大韓民国憲法】

第五四条（戒厳）①大統領は、国家非常事態において、兵力をもって軍事上の必要、または公共の安寧秩序を維持する必要がある時には、戒厳を宣布できる。……

③非常戒厳が宣布された時には、令状制度・言論・出版・集会・結社の自由、政府や法院の権限に関して特別な措置をとる—。

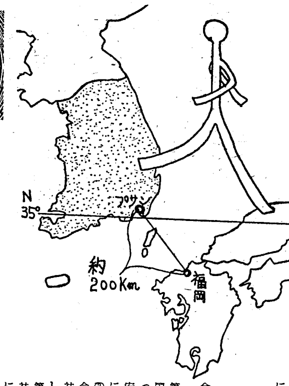
第一八条（言論・出版・集会・結社の自由）すべての国民は、法律によらない限り、言論・出版・集会・結社の自由を制限されない。

×　×　×

『…検閲は厳格である。新聞、雑誌は検閲されたことが分からないようにブランクを残しておく事を禁じられている。ソウルにある全ての主要大学には軍部隊が駐屯している。…十月十七日の声明によって大統領は、すべての政治活動、そして新しい憲法に対する支持や反対に関する、すべての活動を禁止した……新しい憲法に反対する「流言蜚語」を流したというので刑を言い渡された人々に対する報告が毎日入ってくる……』

×　×　×

十二月十四日〝戒厳令〟は解除された。二七日、朴大統領は非常国務会議に憲法改正案を提出、そして議決した。



大統領は〝ボク〟だ!?

完全無欠の独裁

七二年十一月二一日、改憲案の国民投票は、九一%という圧倒的支持率をうけ、その結果二七日憲法は全面改正、公布された。

【大韓民国憲法】

第一二四条（憲法改正）②大統領の案は国民投票…国会議員の案は国会の議決を経て、統一主体国民会議で確定される。

×　×　×

七二年十二月十五日、統一主体国民会議・代議員の第一回選挙が行なわれた。そして二三日、同会議は朴正熙氏を大統領に三選した。

【大韓民国憲法】

第三九条（大統領の選出）統一主体国民会議で討論なしに無記名投票で選出される。

第四七条（大統領の任期）六年。

（注・前憲法では任期四年。大統領は国民の直接選挙によった。また三期以上はつとめられない制度が定められていた）

×　×　×

だぁれもいない
ここから
あそこまでには
だぁれもいない
黒い
下水に月の光が没落する
石橋の上に
この不思議なほど美しい
吐く息が白々とたちこめた
家の中には
だぁれもいない
真っ暗で
月のなかを逃走する銀貨に
抑えつけられ
よじれる四肢の
荒れ果てた夢は真っ暗で
青く染まる
脳裡に死にゆくおれの
おれから道までには
だぁれもいない　（金芝河）

七三年十月二日、ソウル大学文理学部で、学生三百人が二年ぶりに反政府デモの口火を切った。十一月五日、金芝河氏ら韓国知識人グループは「時局宣言」を出し、民主的秩序の回復を求めた。さらに十二日、梨花女子大生四千人が抗議集会を開き、「キャンパスの自由」「報道の自由」「逮捕学生の釈放」を叫んだ。『—あちこち遊びまわる、たいしたことのない女子大生たちがひとつ心で集まり夜を徹し市庁の前まで進出した』この後、各大学に反政府集会や同盟休校がひろがっていった。

『方々で学生たちが、事を始める前に連行されたり、拘束されたりしている。十月二日ソウル大が事あげをした頃は、学生の動きは大変悲壮味を帯びたものであった……。民衆の怒り、これは抑えることのできない…叫びつづけるものだ……』

十一月三十日、有力夕刊紙「中央日報」と「東洋放送」の記者が「まっ殺された言論の基本権をとり戻そう」との宣言文を発表し、ストに突入した。『…新聞であろうと週刊誌であろうと手を加えているのが普通……全く削除されたり、抜かれてしまったり、はさみで切られたり、時には真黒く墨でぬられている……』

十二月二十四日、各界の知識人による「改憲百万人署名運動」がスタート。二十九日に、大統領は自ら「改憲運動は法のワクを超えた暴挙だ。すぐに中止するように」と警告した。

×　×　×

七十四年一月八日、朴大統領は緊急措置第一号・第二号を公布し、改憲運動の取り締りを強化した。

【大統領緊急措置第一号】

①憲法を否定・反対・歪曲・誹謗する一切の行為を禁ずる。

②憲法の改造・廃止を主張・請願する一切の行為を禁ずる。

③禁じた行為を—中略—放送・報道・出版・その他の方法で知らせる一切の行為を禁ずる。

⑤違制者は、法官の令状なく逮捕拘束し、十五年以下の懲役に処す。

【大統領緊急措置第二号】

②非常軍法会議は、緊急措置に違反した者の犯罪を管轄・審判する

【大韓民国憲法】

第五三条（緊急措置権）①大統領は国家の安全保障などに重大な脅威を受けるか—中略—時、国政全般にわたって緊急措置をとる—。

②必要と認めた場合、国民の自由と権利を暫定的に停止—。

×　×　×

『逮捕して一週間内外で片付けてしまう。求刑と宣告の二回の開廷で済ましてしまう……刑量はあらかじめ決められているから法廷とは飾り物である。とにかく脅迫の効果があがればいい……』

×　×　×

顧みるたびに暗鬱をついて
くりひろがる紺碧の空
降りしきる陽のもとに
しばし立てるなら
青い囚衣にとられたまま
死んでもよい
それが現のことなら
それが今なら
それがいつまでも、いつまでも
さえぎられることがないならば

政府批判は皆アカだ

七四年四月三日、ソウル大学医学部など五つのキャンパスにおいて、学生が再び朴政権に反対する統一行動を起こした。その時配られたビラは、「全国民主青年学生総連盟」（以下「民青学連」とする）の名で作られ、一般大衆に向かって国民の決起を呼びかけていた。

この事件発生後、わずか十一時間後に開かれた臨時閣議で、朴大統領は緊急措置第四号を即刻発布した。

【大統領緊急措置第四号】

①民青学連とこれに関連する諸団体あるいは構成員の活動に直接また間接に関与する一つの行為を禁ずる。

②この措置宣布前に違反行為をした者は、一九七四年四月八日までに、その行為内容を告知しなければならない。

⑤学校内外の集会、示威、声討、籠城その他の一切の個別的、集団的行為を禁ずる。

⑧違反、誹謗した者は死刑、無期または五年以上の有期懲役に処す。

×　×　×

『若い人々が毎日のようにCIAや警察に連行されてゆく。規定されているように「令状」なしにである。ある者は帰ってこない。帰ってくる者も脅迫や拷問を受け絶対に抵抗運動をしないという署名をさせられる……反政府即親共・容共という反共イデオロギーが最大にエスカレートしている…』

×　×　×

七四年五月二七日、非常軍法会議検察部は、早川嘉春、太刀川正樹両氏の日本人二人を含む「民青学連」事件の五四名を起訴した。

七月十五日、非常軍法会議は最終判決を下し、緊急措置第一・四号、反共法、国家保安法、刑法違反に問われていた早川、太刀川両氏には、「懲役二十年、資格停止十五年の刑が宣告された。同じく、風刺詩「五賊」で反共法違反に問われた金芝河氏には、死刑が宣告された。

『……それは何よりも日本の言論の朴政権批判に一撃を与えるためである……国内的には思想が悪いと逮捕された前歴のある人々をみんなこの事件に結びつけた…』

×　×　×

【反共法】

第一条（目的）本法は反共体制を強化することによって、国家の安全と危地における共産系列の活動封鎖を目的とする。

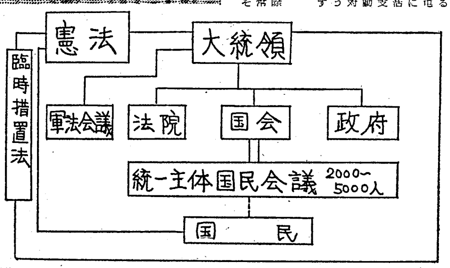
第三条（加入・加入勧誘）①七年以下の懲役に処す。②未遂犯は処罰する。

×　×　×

『…「反共」とは「親朴」ということなので、反共的な言葉を口にすれば「政府のねこいらずを喰べた」と人々から言われる状況である…』

×　×　×

七月二十日非常軍法会議は国際世論の高まる中、「特別措置」として金芝河氏ら五名を無期懲役に減刑した。そして八月二三日、緊急措置第一、四号は解除されたのである。



韓国の政治組織

論鋒 エネルギー考

エネルギーと汚染のイタチゴッコ

人類に制御は可能か

世界中のすべての人は、軍備拡大、環境汚染・人口爆発等の問題に一連の関心を示している。こうした問題の多くは長期的な問題であり、どれひとつ取り上げても個別に考えることのできない問題である。そして、「豊かになりたい」という人間として当然の望みが、エネルギー増加を促進することによって、こうした問題に対応する速度を遅らせている。エネルギーは人口と食糧とに関係が大であり文明の進展とともに、人口の増加以上にエネルギー消費は増加しているのである。無理なエネルギー消費の減少は、経済停滞あるいは衰退をおこし、失業者が出て混乱をまねく。それ故に、いちがいにエネルギー消費を減少できない。

物質の流れは、生態系においてほぼ循環しているが、エネルギーの流れは直線的であり、一定の限界をこえて増大する傾向にある。その影響が、環境汚染等に及ぶのであるが、問題は地球規模で気象系などにもおよぶことにある。

現在使用されているエネルギー資源は、化石燃料といわれる。石油・石炭・天然ガスである。人間がこれらのエネルギーを利用する方法はいろいろある。暖房のようにそれを熱エネルギーにかえるのもひとつであるが、大半は、機械エネルギーとして仕事にかえたり、電気エネルギーとしてつかわれる。この時、一般に熱エネルギーを除けば、エネルギー効率は高いのであるが、機械には摩擦熱がともなうように、エネルギーの一部は熱に変わってしまう。一度熱としてかわると、再び利用することができないのが現状である。現在地球上では、これらの熱エネルギーがたまりだし、炭酸ガス、放射能等の汚染ベスト3に入れられる。

核—その利点と弊害

エネルギー資源として有望視されているのが、核エネルギーである。核エネルギーとは、ウラン原子を分裂させてプルトニウム原子を作る核分裂反応による方法である。（現在使われている軽水型原子力発電炉や、原子力船「むつ」の原子炉などがある）

この核エネルギーはどこまで利用できるのであろうか。現在の原子炉は、天然ウランのうち〇・七%しかふくまれていない。ウラン二三五を利用しているが、高速増殖炉が開発されると、ウラン二三五の利用だけでなく、ウラン二三八をプルトニウムに変化させ利用することとなり、理論的には天然ウランをすべて利用できることになる。現在の原子力の五〇倍も利用できるのである。これを利用すれば、飛躍的にエネルギーが増加することはまちがいないのである。しかも、亜硫酸ガス・炭酸ガス等の大気汚染の大部分は、原子力の導入により、現在の汚染率の数パーセントになるという利点がある。

たとえば、原子炉を利用して水素を大量生産できれば、量が減り

れる。

値段も高くなるガソリンや天然ガスとコスト的には、同じくらいになると考えられる。そのうえ水素は電力と違い貯蔵ができ、さらに燃焼するさいエネルギーと水蒸気を出すだけであり、エンジンを動かす燃料としても、ガソリンや軽油よりもすぐれているといわれている。また、高速増殖炉を使えばごく少量の核燃料によって多くのエネルギーが得られるので、廃棄物処理の段階の量も少ない。

しかし、いかに少量とはいえ放射能廃棄物の問題をむぞうさにしておくわけにはいかない。

廃棄物に含まれている放射性同位元素の多くは短時日で崩壊して比較的無害な物質になる。たとえばジルコニウム九五の半減期は六十五日である。しかしストロンチウム九〇とセシウム一三七の半減期は三十年といわれ無害になるには千年近く厳重に隔離しておかなくてはならない。さらにプルトニウム二三九になると、半減期は二万四千年という想像を絶する長さなのである。さらに、プルトニウムの毒性は強くその粒子をひとつでも吸いこんだら、肺癌になる危険性が高いといわれる。

これらの廃棄物をどのように解決するかは、いまだに立証されてない。タンクに貯めたとしても、タンクの寿命は長くても五〇年ぐらいのものである。土にうめることもできず、海に捨てることもできない廃棄物を、永遠に続くかもしれない放射能汚染をはたして回避することができるであろうか。

潜在する危険性

大気中に含まれている亜硫酸ガス・炭酸ガス、海には水銀・PCBで汚染された魚が、畑には農薬等で汚染された野菜類が、大なり小なり人間の心配の種となっている。

人類に影響を与えているこの汚染は、知らぬまに手をつけられぬ状態になり、幾何級数的に増加し人類の生命を間接的に、土台から揺さぶりはじめている。

汚染に対して、制御措置の必要性の評価が低いため、気がつかないうちに手のつけられぬ状態になってしまったのである。原子力（核分裂）の恐ろしさは誰もが知っている。特に日本は被爆国ということもあり、極度にその安全性を問われる。

しかし、目先の安全性だけに夢中になっている傾向があるのではなかろうか。「核」とは、強い放射能を帯びた「有害物質」であり、しかも「寿命」がきわめて長く、分離抽出したあとの、廃棄物は非常に強い放射能を帯びており放射性元素が崩壊するときに出す「熱」は、数年間にわたるのである。

ここで問題になるのは「有害物質」と「寿命」と「熱」である。どれひとつ欠けたとしても、本当の安全性を問うことはできないのである。特に「熱」に関しては、いかに安全なエネルギーにしろ、その利用を抑制しなくてはならないこれからの難問であるといえる。

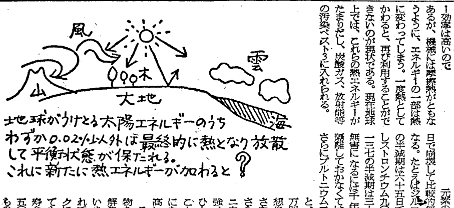
これからの課題

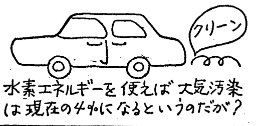
もし人間に必要なエネルギーがいつの日か化石燃料のかわりに原子力等によって供給されるようになると、大気中の炭酸ガスの増加はとまるであろう。しかし、エネルギー使用には、「熱汚染」という影響があることはみのがせない。局地的に放出される熱は、生物の均衡を破壊する原因となる。「熱汚染」が地球が吸収する太陽熱のある量を上まわると気象上の影響をもつようになると考えられるのである。

汚染源である炭酸ガス・カドミュウム・水銀・放射能……どれを取り上げても重大な要素を含む問題である。しかし、放射能には「熱汚染」とが関係するように、ひとつの問題点だけを取り上げているだけではすまなくなっている。

汚染を浄化しようとすれば、またエネルギーが必要となり、その需要はのびるのが現状といえる。

今の我々には、エネルギーは絶対に必要であるが、その使い方にこれからの課題が残されていると考えられるのである。さらにエネルギーそのものの抑制が、必要なことであろう。（本社・久保毅治）





東急ホテル直営
喫茶 TEMPO LIBERO
コーヒー，パフェ，紅茶，ピザ，
営業時間 AM10:00～PM7:00.
目白駅前 コマースビル3F

フルーツパーラー
JURAKU
TEL 950−4981～2

Waffle & Coffee
サービスセット実施中！
パーラー らら
目白店 コマースビル4F
新宿店 小田急地下名店街

大・小宴会
福寿司
本店：富士銀行向い TEL 950−0361
分店：さくらパチンコ入る TEL 950−6463

中華料理
精華園

喫茶・菓子
目白 志むら
TEL (953) 3388～9

ソフト コンタクトレンズ
やわらかく痛くなく最初の日から使える
従来のコンタクトレンズをあきらめた方におすすめします。
電話で説明書を請求して下さい。
直接に御来所の方には無料でタメシに入れて差上げますから、
ハードレンズと較べて下さい。
電話271-9296　学生割引あり
東京駅八重洲北口すぐ前
八重洲コンタクトレンズ研究所

10月19日(土)より
ロードショー
特別鑑賞券=800円
（当日一般1,000円の処）
大盛況前売中！
日本映画の歴史に新しい一頁を加えた問題の超大作！
昭和49年度 芸術祭参加作品
〈カラー作品〉立体音響
砂の器
原作/松本清張 監督/野村芳太郎 脚本/橋本忍・山田洋次
丹波哲郎/加藤剛/森田健作/島田陽子/山口果林/加藤嘉/緒形拳/佐分利信/渥美清
松竹・橋本プロ（第一回作品）提携
新宿 ミラノ座 (202)1189
渋谷 パンテオン (407)7219

中年御三家 その自由奔放な横顔

☆……… 当新聞社は自称中年御三家の永六輔、小沢昭一、野坂昭如の各氏（アイウエオ順）を招き、刑法改正、ペンクラブ員藤島泰輔氏の韓国での発言などを通して、作家としての政治へのかかわり方を三氏の歌をまじえて講演していただく予定。今回は、その予備知識として、三氏の横顔にスポットを当ててみた。………☆

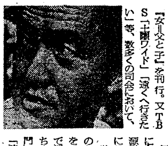
永六輔――昭和八年四月十日、神田の寺院でうぶ声をあげた。浅草育ち。現在四十一歳。子供の頃は虚弱児童だったが、常に自分から仲間はずれになることを保身術としたという。家業の寺での説教を含めて「語る」「しゃべる」ということの魅力にとりつかれたのも随分小さい頃。

庶民的な下町情緒、映画、歌舞伎、歴史、三味線など次々と目に飛び込んでくる物すべてに魅了され、チャンスをフルに活用しながら投書家になり文芸部員となってコントを作り番組を書きとばした

昭和三十年〝放送作家〟という肩書きがつく。三十一年結婚。三十三年、自分でも一流と思っている舞台監督として売りまくった。三十六年、処女作『一人ぼっちの二人』を出版した会社が倒産。三十九年、大阪朝日新聞に『わらいえて』を連載。四十二年より『話の特集』という雑誌とかかわり始める。毎日テレビで『芸能わらいえて』を放映、『芸人その世界』を執筆。続いて『街＝父と子』『女＝父と子』を刊行。又TBS「土曜ワイド」「遠くへ行きたい」等、数多くの司会において、多彩な活躍ぶりで周囲を圧倒。「遠くへ――」は、ギャラクシー賞を受けた。

四十六年、最新著書『極楽まんだら』、四十七年出版の『六輔その世界』で二十一冊を世に送り出した彼は、〝好き嫌いがはっきりしている野次馬〟と自認している。

（『六輔その世界』より抜粋）



小沢昭一――昭和四年、小沢写真館の一人息子として生まれる。東京生れの東京育ち。

子供の頃から電車の外を眺めるのが大好きだった。何でもかんでも「見る」ことがヤミツキとなりついに〝好奇好色の徒〟と自称するまでに大成する。

舞台、映画、放送、執筆、写真にと、その多分野における活躍の源動力となっているものはひとえにこの性格にある。

学生時代は、バイトと寄席通いのかたわら、俳優座養成所で修業をつむ。昭和二十六年に三越劇場で初舞台を踏んで以来、「にあんちゃん」「エロ事師・人類学入門」「あこがれ」「くの一忍法」「波止場の無法者」「社長繁昌記」（以上映画）、「新劇寄席」「とら」「熱なき死者」（以上舞台）などに出演。オカネと悪評を頂戴する。

昭和四十八年以降「私のための芸能野史」「清談・性談・聖談そして雑談」「私は河原乞食考」「日本の放浪芸」「小沢大写真館」「小沢昭一的こころ」など出版まさに雑芸者の本家本元的存在。

・そんな彼の生き甲斐―生きる目的は「しいて言えば死ぬために生きる。死ぬ準備を毎日しているような気がある」と語る。ちなみに自分の墓は、向島の寺に建ててあるそうな。

野坂昭如――第十回参議院選挙に東京地方区から無所属で立候補、若者の支持を得たが、四大政党の壁を破れず落選した野坂昭如は、現在〝時の人〟である。

最近、藤本義一等とともに、日本ペンクラブに加入し、作家、歌手として〝タレント〟的存在。

このように〝陽の当たる場所〟を歩いている彼も、青年時代には暗い〝浮人〟の軌道からはずれた道を歩み、それが彼の文学に反映していると言われる。

昭和五年に、神奈川県鎌倉に生まれ、一歳の時に神戸の張満谷家（はりまや）に養子に出された。

今はトレードマークとなっているメガネを小学校三年の二学期からかけ始める。中学生時代の空襲後から彼が後に著作で述べている〝焼跡闇市派〟の生活へと変わって行く。

その後の生活は、伯母等の着物を盗んで売りはらった事により、多摩少年院東京出張所に入れられるなど〝波乱〟に満ちていた。

大学へ入っても勉強せず、三木鶏郎門下のマネージャー、冗談工房（社長永六輔）の専務などをへて、新聞・雑誌などのコラムを担当。昭和四十三年『アメリカひじき』『火垂るの墓』で直木賞を得るまでは、野末陳平と漫才のコンビを組んだり、「オモチャのチャチャチャ」でレコード大賞童謡作詞部門賞を受賞するなど、その活躍範囲はひろい。

〔主要著作〕『エロ事師たち』『マリリン・モンロー・ノーリターン』『プレイボーイ入門』『本朝淫学事始』最新作『子噛み孫喰い』

波紋

〝ショック〟事療法

十月一日付の朝刊は、とにかく〝値上げの秋〟の記事で華やかだった。国民の足代があれよあれよという間にアップ。その上、主食である米、その消費者米価までもグーンと引き上げられてしまった。全く加速度的な財布の軽さに身を削られる思いがする。

各地で発する〝インフレ阻止〟の声はむなしく、国民は自らの知恵をふりしぼって、その打開策を練り続けてやまない。――その一つとして〝玄米食のすすめ〟が秘かにブームを呼んでいる。

◇

「戦時中じゃあるまいし、玄米なんか食えるか」と啖呵（たんか）を切ってみたところ、「白米は最大の欠陥食で白米を食べ過ぎるとバカになるというのは本当だ」（お茶の水クリニック院長、森下敬一博士提言・朝日新聞社YUYU紙十月四日号）との、キツイ言葉が返ってきた。

「あまりにもインフレブームにつきものの作戦ではないか」とソッポを向く人も多いだろう。だが「玄米を食べてるとセリフの覚えがいいのヨ」とは女優、悠木千帆さんの弁。モミ殻を取り除いただけの玄米は、味も当然白米に劣るが、最近これが、アメリカで見直されている。これは「弱肉強食の世界から平和は生まれない。従って、自然食を愛用しよう」という、一種の平和運動として流行してきたもの。

◇

自然食の食べ方は様々だが共通しているのは、肉を食べないことだ。人は、必要なタンパク質を、玄米・大豆・小魚等から得るだけで充分で、それ以上の肉食をする事は単にに血液を汚すだけとされている。

理由はごもっとも。だが物があふれているこの時代、いくら値上がりとはいえ、贅沢が身について育ってきたわれわれのこと。今さら〝自然食を常食にせよ〟と言ったところで早速取りかかる者もいないだろう。だが、数百円値上がった自主流通米をしぶしぶ口にするより、まだましではなかろうか。

(6)

デスクの片隅

今号で、「学習院新聞」から「学習院大学新聞」に移行して、ちょうど二十号にあたります。社員一同、これを機に一層はりきって充実した紙面を皆様にお読みいただけるよう努力していく所存です▼また「院新」時代から今日まで、二十五年の歴史を持つ我社。その歴史を通し我社は一環して大学祭に直接参加しておりませんでした。が方針を変え、これからは同じ学生の立場から主体的に参加していくことになりました。現在、その企画の準備とスタッフはふる回転しています。シンポジウム「中年御三家勢ぞろい！」（出演・小沢昭一氏、永六輔氏、野坂昭如氏）は、中でも特に我社としては、成功させたいと思っています▼最近の物価高は、本学内においてもいろいろな方面に影響を与えはじめたようです。我社では、学生の生活を脅かす「学食値上げ」や「入学金値上げ」の動きに対し、「値上げ」に反対するキャンペーンを続ける意向です。いろいろな方の御意見をお待ちしています▼先ごろ「学生共産主義者」と称するビラが配布されましたが、このビラの内容に我社に対する誤まった事実認識による誹謗中傷ととれる決めつけ文がありました。これに対し強く抗議するとともに反省を求めます。なお、我学習院大学新聞社は、何の政治党派にも属さない〝報道機関〟であることをここに明確にしておきます。したがって、新聞社としての活動にあって、特定党派の政治路線に規定されることを拒否します▼退社員のお知らせ 外報部員 桑原葉子（短文2）

文化

大学祭賛助企画紹介

「近代」…東文研・あるびよん・近代史研

社研・政研・中文研…「経済」

悪性インフレに喘ぐ日本経済のゆくえ

米価、国鉄、地下鉄、バス、タクシー、電話、電報などの公共料金の値上げ、さらには価格統制措置の撤廃によって〈物価狂乱の秋〉が再び私達の生活を脅かそうとしている。同時に、不況型の大型倒産が相次ぐという中で、いまや、日本経済は狂乱的インフレーションの報いが国家の〝オーバー・キル〟を引き金として、スタグフレーション（不況下の物価高）からさらに正真正銘の不況に転じはじめている。一方、深刻な経済危機に直面して、政府は、価格統制措置を解除するなど、総需要抑制政策をシリ抜け的に緩和させインフレ政策による独占資本の救済に走らざるを得ない。すなわち、一切の経済的矛盾は、私達労働者、学生へと転嫁されているのであり、その頂点に位置する最も強権的なものが所得政策の導入なのである。政府、独占資本は、その野望をスムーズに実現していくために御用学者を総動員して大量のキャンペーンに今日狂奔している。

こうしたキャンペーンの背景となっているのがコスト・インフレ論（賃金と物価の悪循環論）である。そして、それをやすやすと許容してしまっているのが、低迷する現在の文化理論戦線に他ならない。かつて高度成長期において「恐慌のない完全雇用の管理社会」「福祉国家」を標榜していた近経学者は今日の現実に直面し困惑し、価格変動を現象的に追い求めるか、環境・資源問題にのり移るか、あるいは政府、独占資本のイデオローグとしてコスト・インフレ論をふりかざしているにすぎない。

そうした中で、大内力氏は宇野理論を適用しつつ、国家の国独資政策を媒介に形態変化をとげた現代帝国主義の特殊性をレーニンの古典的帝国主義段階とは相対的に区別しつつ、「国家独占資本主義」として一般的に把握せんとする独自の領域を追求している数少ない研究家の一人といえることができると思う。私達は、大内氏との討論を通じて今日の悪性インフレの本質的問題性に肉迫すると共に政府・独占資本の虚偽性をも明らかにして行きたいと思う。

近代化への挑戦 批判的視座から

近代は現代の人間の文明を構築する上で、功罪ともに一つの決定的な要素を歴史の潮流過程に投影している時期として、きわめて重要なものといえます。しかも事実においてそうであったばかりでなく、人間の感情や道徳意識と関わりない科学的な認識を体系化し、方法化する理論を、社会的構造のなかから成立させていき、それを支えとして、それを構造のなかに組み込ませることによって歴史を押し動かしている時期でもあります。

そこで私達、あるびよんクラブ、東洋文化研究会、近代史研究会は日頃の日常分野活動における孤立的現象形態のもつデメリットを内容的に克服すると共に、サークル活動の更なる質的発展を克ちとって行く為に、今大学祭において、近代化に関する講演会を実現していきたいと考えています。

その為に私達、三サークルは独自分野の活動を媒介にしつつ近代化の基本的メカニズムを批判的視座から明らかにし、自覚化する方途を模索して、近代が現代に及ぼしている影響も併せて考察し、統一的視角から講演会を行ないたいと思います。

アバンギャルド

現代の顔 アンディ・ウォーホール

真の日本らしさを探る!!

今世紀最大のスーパー・スターと呼ばれるアンディ・ウォーホールが今月二十九日、二度目の来日をする。

ウォーホールと言えば、近頃封切になり話題になっている「悪魔のはらわた」の監督として知られているが、実際には単なるエログロ映画の製作者ではない。以前からポップ・アートの第一人者であり、アメリカ人やヨーロッパの芸術界をゆるがしている人物である。古くはアニメーション「ディック・トレーシー」やキャンベル・スープ、マリリン・モンロー、ジャックリーヌ夫人、毛沢東などをモチーフとした作品を発表。その他アンダー・グラウンド映画製作者として、彼の残した功績、世相に与えた影響は大きい。六七年、ビートルズが出した「イエロー・サブマリン」に見られるイラストのアイデアも、T・レックス、デビット・ボウイらに代表されるグラム・ロックの奇怪なコスティウムも、ウォーホールの存在なしには、とても考えられない。今回の来日に際し、このセンセーショナルな男、ウォーホールにスポットをあててみた。

☆ ☆ ☆

アンディ・ウォーホール。年令不詳

一九三〇年、フィラデルフィアに生まれたと言われる。ピッツバーグの工業学校でデザインと絵画を学び、以後デザイナーとしての道を歩む。

六二年、キャンベル・スープをモチーフにした作品を発表。以来世界的なポップ・アートの代表作家となる。

六三年頃より、アンダーグラウンド映画の製作を始め、型破りの感覚的な作品が毎回話題を呼ぶ。

全男性暗殺団の一女性ヴァメリア・ソラニスに狙撃され、六八年ケネディ大統領、キング牧師の暗殺事件と並んで、非常にショッキングな事件としてアメリカのマスコミ界に取り上げられる。

七〇年、大阪万国博で「調和と進歩」のテーマに取り組み、アメリカ館で大きな注目を集める。この頃より、アメリカ文化のトップ地位を公式に認められる。

七一年、ホイットニー美術館でアメリカ文化史最大のイベントとしての個展を開く。今年、パリのガリエラ美術館で「毛沢東」をテーマにした作品二〇〇点を出品。アメリカ文化を小馬鹿にしがちなパリ文化人たちを圧倒した。

☆ ☆ ☆

ウォーホールは最近、次のようなメッセージを日本あてに送って来た。

「一九五五年、私は東京と京都へ行った。それ以来ずっと、なるべく日本的になろうとしている。というのも、日本人はシンプルな表現がとてもうまいからだ。いま私は日本の花を描き、日本食をたべ、ケンゾーの服を着ている。そして日本製の写真やヴィデオ、ハイファイ、その他の電子機器も使っている。私は日本的なものは、何でも好きだ」

ウォーホールは白色人種の中でも非常に日本的だと言われている。彼の作品「ニュー・フラワーズ」にも、生け花の感覚が生かされているなど、彼自身も日本に対する関心は高い。来日の目的も、日本初の本格的な展示会開催と並んで、最近の日本社会、文化、風俗の取材、日本人の美意識、人物発掘を主としたものである。

しかし「日本らしさ」とは一体何なのか。その問に答えられる人は、果してどれだけいるだろう。我々は日本独自の文化を持ちながら、ただ無条件に舶来文化を取入れ、まねすることが、日本を先進国たらしめる唯一の、手取り早い方法であると考えた。その結果、日本は表面的には豊かになり、経済大国にのし上った。だがそれは大量生産による人間の機械化、公害などの大きな後遺症を残したのである。

普通外国人は、いわゆる「過去」の日本文化を求め、それが「日本」だと解釈する。しかも彼らにとってはそれで十分なのだ。しかしウォーホールの見た日本は違う。先のメッセージと共に、彼は一枚の写真を同封して「これは私の好きなものです。古いバスケットなんだ」と付け加えている。それは日本製の茶色い竹かごの写真なのだが、ありふれたかごとは訳が違う。日本列島の形にも似た非常に奇妙でグロテスクな形をして、鋭い光沢を放っている。ぶどうのつるのような足でやっとその不均衡な姿をかろうじて支えてはいるが、中に物を入れたらすぐさまひっくり返りそうな竹かごである。

メッセージの内容にせよ、この写真にせよ、ウォーホールは淡々と彼が見た「日本」を私達に訴えかけてくる。それは痛烈な皮肉でもある。

ウォーホールは現代を映す鏡である。ピカソのように彼なりのプリズムを通して見るのではなく、何の変哲もない日常生活に密着した題材を、ただひたすら忠実に映す。それだけにウォーホールの作品は生々しく、恐ろしい。矛盾だらけのこの国に、彼のような人物が注目するのも当然すぎる話かもしれない。アメリカの流行を節操もなく取り入れる日本で、ウォーホールの存在が、ぽつんと空白になっていることも、皮肉な話。

アンディ・ウォーホール展は、今月三十一日から来月十二日まで東京駅八重洲口、大丸百貨店で開催される。

（コマ）

トヨタからの伝言

就職先を決定された人、これから決定する人、就職戦線は、いよいよ大詰めを迎えました。キミのこれからの人生をより充実したものにするべく勇気をもって決断する時です。

幾多の企業の中から、自分の一生を託すに値する会社を捜すことは、容易なことではありませんが、その際、就職先選考のポイントとして次の5点を基準に考えれば、よいのではないでしょうか。

(1)思い切って仕事ができること。
(2)組織の歯車ではないこと。
(3)仕事の結果が、明確にわかること。
(4)仕事を通して、自己が磨かれるような職業であること。
(5)物質的にも精神的にも、リッチになれる職業であること。

今こそ、激動の日本経済の中で、真に、成長性と安定性を有する企業を、キミの確かな目で選ぶ時です。

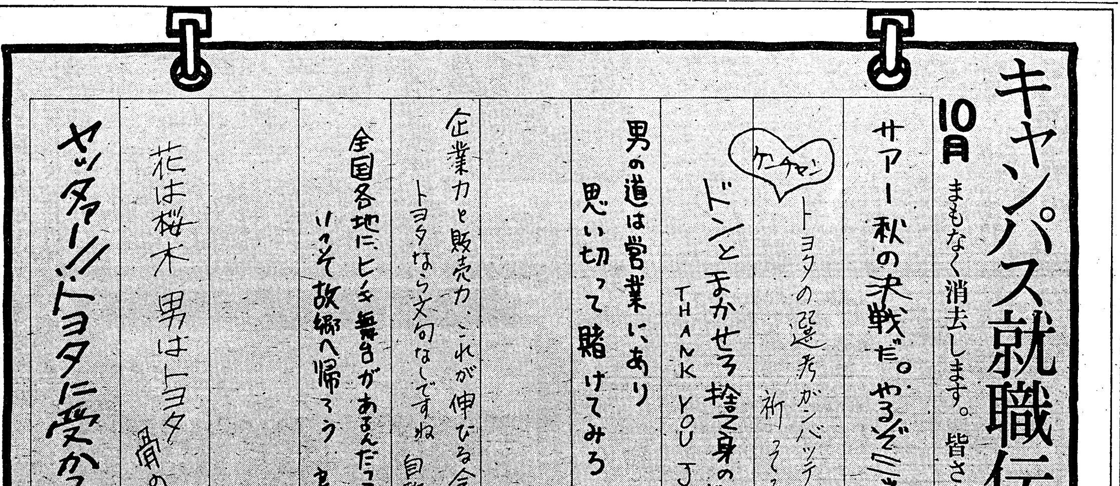
抜群の販売力を誇る、トヨタ販売会社グループ全国280社は、スケール、安定性、ステータス、いずれをとっても、実力企業の名にふさわしい会社です。キミの個性とパワーを存分に発揮できる舞台が、ここに用意されています。

キミの人生を、ぜひトヨタに賭けてみられることを、おすすめします。

連絡先

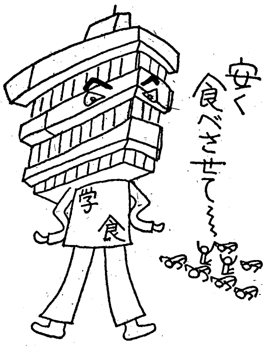
トヨタの販売会社に興味をお持ちの方はぜひ一度ご連絡ください

■全国トヨタ・トヨペット・カローラ・ディーゼル オート・フォークリフト販売会社 人事担当係
■トヨタ自動車販売株式会社 販売店室 名古屋市東区武平町3丁目1番地 〒461 ☎(052)952-2111
■トヨタ自動車販売株式会社 東京事務所人事課 東京都千代田区九段南2-3-18 〒102 ☎(03)263-4111
■トヨタ自動車販売店協会 東京都千代田区九段南2-3-18 〒102 ☎(03)263-6456



成長性と安定性を保証する トヨタ販売会社グループ

鎖でつながれたヤカン
学食大明神の御利益は？



ランチがようやく二百円に値上げされた。今か今かと待ちこがれていたものが、ようやく来たという感じだ。今までの、百五十円とか、百九十円というのが安すぎたんだ。あれだけの豪華なおかず、豊富な量を保っているんだから。

学習院の学食は、設備も満点じゃないか。せまくて混雑するって言っても、昼食時のひと時だけ。椅子なんて、各個人の好みに合わせて選べるように、いろいろ種類があるじゃないか。ヤカンもすごいさ。多分、どこかに高価な貴金属が使われているんだろう。カギがかけてあって、盗まれないようになっている。何をとっても、他の大学とは比較にならないよ。

営業時間も社長なみ。朝早くから夜遅くまで営業するなんてことはない。昼の五、六時間しか営業しない。このせちがらい世の中、一つぐらいのんびり営業してるのもいいもんさ。

こんなにすばらしい学食大明神様。利用しない方がおかしい。とは言うものの、朝食がわりにかけウドンの時代は過去のもの。あんまり安いもので、学食に損させちゃいけないと思って、今じゃ朝食屋食兼用のランチを食べに、日に一度行くだけ。持ちつ、持たれつ、親心てなところですな。

ところが、この親愛な仲を裂こうとする人もいるのです。あんまり学習院の学食が立派なのでジットしたのかな。ちょっとばかり、他の大学のいいところのぞいたもので、「設備が悪い。高すぎる」なんてビラまいている人がいたよ。他人のものはよく見えるものなのさ。物価がドンドン上がっていく中で、学食大明神だって立派な施設で頑張ってるんだ。学習院だけが変に安かったら、それこそ政府から何かもらってるんじゃないかなんて言われるぞ。今の豪華な設備、低価格で充分じゃないか。ブーブー不平を言うから偉いなんてもんじゃないんだぞ。本来なら、こう言わなきゃいけないんだぞ。

学食大明神様バンザーイ！

そうだよね、学食さん？

（mountop）

利用されぬ図書館
有名無実の購入制度
根本には予算問題が

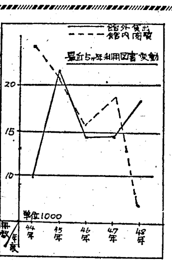
図書館があまり利用されていない。最近、本の貸し出し数は増えているというが、まだまだ利用のされ方は少ないといえる。もちろん、本の貸し出し数から本がどの程度利用されているかを知ることはできないが。また利用する時も勉強室としての利用が多くなっている。

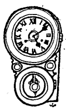
図書館の本を利用しないことに対して、ある人は図書館に読みたい本がないからだという。また図書館側の人は、図書館の本はあくまでも勉強のために利用するもので娯楽のための本ではないという図書館側と学生側で図書館の本に対する姿勢がまるっきりちがうので学生側が利用しないのかもしれない。

ところで図書館側は学生の要望をどのようにあつかっているだろうか。昭和四十七年に三階にあった開架図書室を一階に降すことをした。それ以後学生の利用者が増えてきた。また図書館を利用しやすいものにするだけでなく、直接学生の図書への希望を反映させる制度として希望図書の購入制度がある。そして学生側の要望した本は優先的に購入されるという。

しかしこの制度はよく利用する人は利用するであろうが実際はあまり利用されていないのが現状である。その理由として要望した本が購入されるまで少なくとも6ヵ月かかるということである。それ以上に図書館の宣伝が少ないため購入制度があることを知らない人が多い。このことに対して図書館側は予算不足を理由に積極的姿勢をしめそうとはしない。三年間、予算がすえ置きの上、本の価格が三割から五割あがっているために、どうしても購入図書数が減る。だから、学生からの購入希望が多くなったとしても対応しきれないのでしかたがないとのことらしい。

しかし学生に利用されない学校図書館は何の価値もない。予算不足から学生の要望を反映できないのなら予算不足を解消することがなによりも重要だろう。





館外貸出図書数

月＼年度	48年	49年
4月	921	1,191
5月	2,059	2,376
6月	2,254	2,397
7月	945	1,173
8月	205	241

館内閲覧図書数

月＼年度	48年	49年
4月	358	426
5月	1,131	1,115
6月	1,272	1,090
7月	421	539
8月	237	145

ベストセラー（9月）

◎「カモメのジョナサン」 R・バック（新潮社）
◎「暗い波濤」（上） 阿川弘之（新潮社）
◎「落日燃ゆ」 城山三郎（新潮社）
◎「孤狸庵VSマンボウ」 遠藤周作 北杜夫（講談社）
◎「イサムよりよろしく」 井上ひさし（文芸春秋）
◎「大統領の陰謀」 C・バーンスタイン B・ウッドワード（立風書房）
◎「色悠」（上） 瀬戸内晴美（新潮社）
◎「乾いた思想の流れ」 加藤諦三（いんなぁとりっぷ）
◎「ヨーロッパ退屈日記」 伊丹十三（文芸春秋）
◎「それゆけ孤狸庵」 遠藤周作（文芸春秋）

キャンパスの人

マンネリ化が板についてきた我がキャンパスにも、芸術・スポーツの秋が訪れて来た。はりきっている運動部・文化部の代表として、インターカレッジで第三位となったソフトボール部副主将の今川健樹さん、「十二夜」を上演するシェークスピア研究会のヒロイン佐伯洋子さんに登場してもらった。

"愛"を芝居で

「芝居は特別なことじゃないのよ」と話しはじめた。「ふとした愛を心に与える事が出来ればいいの」だそうだ。

芝居を始めたのは大学から、役者としてはまだ未知数。一年半で大役に抜てきされた、シンデレラ的存在だ。

シェークスピア劇は心にある愛を表現することが大切だという。彼女が適役だと言われるのは、単に表現力の問題でなく、彼女の持つ愛や、暖かさが、演技ににじみでてくるからかも知れない。

「御令嬢」というニックネームにふさわしい大きな瞳と、長い髪を持ったすてきな女の子。だがお嬢様タイプの役ばかりでなく、もっとシリアスな役をやってほしい、という声も出ている。回りの人の期待を示すものだろう。

大学演劇界でもトップクラスに位置する学習院のシェークスピア研究会。その中で、香り高く咲く花のようなヒロイン。

「芝居の魅力は、人の生の心にふれられることですよ」と言葉を結んでいた。

学習院女子部出身
英文科二年B組

佐伯洋子さん

秋、クラブの季節
帰りは毎日遅いけど…

ソフトに賭ける！

今川健樹さん

ソフト部の副主将。いかつい人に聞こえるが、会ってみると実にソフトな人だった。

今回の試合では二番を打ち、三塁を守った中堅選手。地味なプレーや頭脳プレーが身上の人だ。

副主将になったのは、この九月からで、まだチームのまとめ役というより、上級生の一選手という意識が強いという。

ソフトを始めたのは高校に入ってから。大学に入学の時は、他の部に入る事を考えたが、やっぱり離れられなかったらしい。

練習は毎日三時間。土曜・日曜も練習か試合だというから、かなり時間を束縛されてしまう。やめたい、と思ったことも多かったという。

だがそれも「好きだから」の一言がすべてを解決してしまっている。

ソフトをやっていて、何が楽しいのか、の問には「試合の時のあの緊張感がたまらないですね」とニッコリ。

「試合をやるからには勝ちたい。今年の下級生は素質がいいから、しごきがいが有りますよ」と意気さかんに語ってくれる。

ソフトをやっていなかったら、バイトと、趣味の車に明けくれているだろう、とほほえむ普通の男の子だ。

最後の一言は「今度こそ"打倒日体大"です」と目を輝やかせていた。

学習院高等科出身
経済学部三年松村ゼミ在籍

キャンパス・NOW!?

オンブ・ズロウス・アンぐ

GO

■おとなりサーン■

他人のものは良く見えるのかもしれないけれど、池袋の某私大の学食、いいんだワ。

１５０円のチャーハン、具もいっぱい入って、スープ付。

２００円の天丼、エビ天２つに野菜天、みそ汁とおしんこ付。

我学食のメキシカンライス、魚天丼と食べ比べてほしい。

その他、カロリーとボリュームを考えたメニューが沢山。デザートにソフトクリームもある。

場所は地下で、狭く混んでいるけれど、量と安さでカバー。営業時間も８時半から５時半までで、ちょっと遅く行くと、一番まずいおかずのランチとカレーしか残ってないなんてことはない。それでも、在学生の中からは不満の声もあるようだが、我大学と比べたらそんな……。

インフレ、諸物価値上がりの折り、少しぐらいの値上げは仕方ないんじゃないかと思ったのはおろかだった。

金がなくて、ヒマと定期のある人、隣り近所の付き合いを大切にしようよ

FEEL

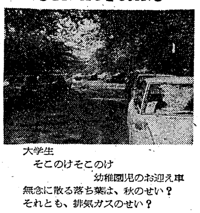
◆あさはかな期待◆

驚いたのは、試験直前のパンキョーの授業。試験のある科目で、先生が何かヒントでもくれないかと、はかない期待を誰もが持つのだろう、一時間目から教室は超満員。初めのうちこそシーンとして、先生の話を一言も聞きのがすまいと、きれいな教科書に書き入れ、コーヒー一杯で借りたノートをせっせと写し…て待っているが、期待していた言葉は一向に出ない。時間は刻々と過ぎていく。裏切られたという気持ちが胸一杯に拡がり、希望は無残にもあきらめに変わる。もう最後の30分など、教室内は仲間同志の情報交換が盛ん、不協和音に満ちあふれ、先生の声は聞こえず、おまけに久しぶりに早起きした寝足りなさも思い出す。

結局、サボってた自分が悪いんだと悔んでみるが〝そういう気になるのは年に２回だけというのも事実なんだな

PHOTO

●IN AUTUMN●



大学生
　そこのけそこのけ
　　幼稚園児のお迎え車
無念に散る落ち葉は、秋のせい？
それとも、排気ガスのせい？

ANGRY

▲女の執念ン…○○▲

新聞社生活早や１年半。色んなビラを配ってきました。にっこり笑って受け取ってくれる人はみーんな神様みたい。それが殿方ならこの時ばかりは、皆ドロンかジュリーに見える。でも、たまにはヘソ曲がりと言うか、このさして可愛いくない顔を精一杯可愛いくして差し出すのに、顔も見ないで（もっとひどいのは顔をそむけて）行ってしまう人もいる。

ところで、これよりひどい御仁がいるのです。時・９月末のある日、所・学食前、学食値上げ反対のビラを配っていたの。折から現われた男性２人。「あ、どうも」とばかりにビラを受け取り、そのまま自動販売機わきのゴミ箱へポイ。そして学食窓口でランチを注文。この時ばかりはオトナシイ私メも怒りを感じたのです。もし私が男なら、きっとこう申し上げたに違いない。「オイ！オマエら誰の金使ってメシ食ってンだ。親が働いてメシ食わせんだから、不当な値上げを怒るべきだろ。それともオマエら、物価上昇の元凶、田中の手先か！」と。

でも、あいにく女であった私はこうやって記事を書いて仕返ししてるの。だから女って執念深いって言われるのかしら。

INFORMATION

◆写真展

佐野浩滋（経３）写真展
Au jardin 11月5～10日ギャラリー・キューブリック<早稲田 鶴巻町>

◆スキーバス

志賀高原
・11月29日～12月２日　9,500円
・12月21日～26日　17,000円
スキースクールも開設
学習院大　フェニックス・スキークラブ。問合せ先　４４６―1789 渡辺 誠 まで。

運動会へのお誘い

前略。学生相談所では、十一月二日に運動会を企画しております。現在はその準備におわれています。

催しの内容は盛り沢山。たとえば、各クラブ対抗の仮装行列があります。各クラブでユニークな扮装をこらして参加していただきたいと思っております。各部、同好会、愛好会の皆様、よろしくお願い致します。ほかにも、借り物競争、考え方一つでニンマリするような障害物競争など数々の競技を考えております。また、賞品も用意するつもりですので、皆様奮って御参加下さいますよう御案内申し上げます。

学習院大学の皆様へ
昭和四十九年十月十五日
学生相談所

9F ラウンジ　シャトレーヌ
　レセプションルーム　ゴールドルーム
　ビクターミュージックプラザ（9Fは7月下旬営業開始）
8F 高田馬場ボウル(30レーン)
7F 高田馬場ボウル(30レーン)
6F レーザーシューティングクラブ・
　クレーコーナー
　モデルガンショップ　ドリンクサロン
5F ゴルフクリニック　ビリヤード
　ゴルフショップ　ゴルフプラザ72
4F 西武アスレティッククラブ
3F フィンランドサウナ
　西武スイミングクラブ(温水プール)
2F ショッピングフロア
　三省堂書店 ひまわり 美津濃スポーツ
　エレガンス　東京凮月堂
1F パティオ（西武新宿線高田馬場駅東口改札）
　コーヒーショップフェイスオフ
　イタリアンレストランパスタ 味処ふるさと
　BIG BOX総合案内所 西武観光案内所
　西武トラベルサービス　東京凮月堂
　雪印スノーピア ニイクラ花店 新宿文明堂
B1 有料駐車場

西武アスレティッククラブ

のんびりやろうという意識の浸透、週休２日制の定着。都会人の余暇時間の過ごし方も大きな変化が見られます。テニス、水泳、乗馬などの静かなブームもその現われでしょう。これらは都会人の日常の余暇時間内で、気軽に楽しめることが魅力のひとつです。その反面、施設不足も言われています。私たちは、都会人に快適な汗を流し、生き生きした生活を取り戻す環境を提供します。西武アスレティッククラブ。スポーツを通じて人と人との心を結びつけるでしょう。楽しみながら健康づくりができる当クラブは、かつてない大きな規模を誇り、他の施設ではみられない各種のユニークな内容を完備しています。2150m²の広々としたスペースの中に合理的なトレーニングができるよう各コーナーと各種の最新型器具がレイアウトされています。また健康カルテ、データ管理も作成され、各人の健康、栄養、体力などの現状をグラフ表示して、キメの細かい健康管理をいたします。当クラブでの、さわやかな汗を流すひと時が、都会人のための新しい環境として大きな意義があると確信しております。

BIG BOX
SEIBU SPORTS PLAZA

西武アスレティッククラブ会員募集ご案内

西武アスレティッククラブは会員制を主体とします。体力、筋力の強化をはかりたい方、肥満やオーバーウェイトの矯正をしたい方など各人のカルテに基づきトレーナーが適切な運動処方を行ないます。

●個人会員
入会金(2年間有効)30,000円
月会費(1ヶ月)5,000円
＊１年間全納の場合は55,000円

●家族会員
入会金(2年間有効)50,000円
月会費(1ヶ月)10,000円
＊1年間全納の場合は110,000円

●法人会員
入会金(2年間有効)200,000円
入場料(使用料)1名1回に付500円

●準会員
入会金(2年間有効)10,000円
月会費(1ヶ月)4,000円
＊１年間全納の場合は44,000円
(注)準会員のご利用時間は月曜～金曜日(祭日は除く)の10:00～17:00までとします。

●スクール会員(レディス)
募集人員(記名式)200名
入会金(1年間有効)3,000円
月会費(1ヶ月)3,500円
(注)レディススクール会員は週2回スクールのみ有効です。

●スクール会員(ジュニア)
募集人員(記名式)300名
入会金(1年間有効)3,000円
月会費(1ヶ月)3,000円
(注)ジュニアスクール会員は週2回スクールのみ有効です。

●貸ロッカー会員
募集人員 190名
会費(1年間有効)3,000円

＊ご入会手続・その他お問い合わせ先
TEL.(03)208-7171
東京都新宿区諏訪町300 〒160
BIG BOX西武スポーツプラザ・販売促進係

人生にはシャワーが必要です。高田馬場駅前。